

2005年3月期 ～ 中間決算説明会 ～

2004年10月29日

オムロン株式会社

< 目 次 >

1. 上半期決算概要
2. 下半期・通期の業績見通し
3. 新中期計画の進捗状況
4. 企業年金の現状と将来
5. 人と機械のベストマッチング

注意

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 連結子会社数は140社、持分法適用関連会社数は12社です。
3. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績等に影響と与える重要な要因には、() 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、() 当社製品・サービスに対する需要動向、() 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、() 資金調達環境の大幅な変動、() 他社との提携・協力関係、() 為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

< 主な事業内容と略称 >

事業	事業名称	略称	事業内容
制御機器	インダストリアル・オートメーション・ビジネス	IAB	工場自動化等の制御機器の製造販売
電子部品	エレクトロニクス・コンポーネンツ・ビジネス	ECB	家電や通信機器、モバイル機器向けの電子部品の製造販売
車載電装品	オートモーティブ・エレクトロニクス・コンポーネンツ	AEC	自動車搭載用電子部品の製造販売
公共システム	ソーシアル・システムズ・ビジネス	SSB	自動改札機などの鉄道機器、交通管制システムの製造販売とサービス
健康機器	ヘルスケア・ビジネス	HCB	電子血圧計等の家庭用健康機器の製造販売
その他	事業開発本部ほか	その他	新規事業の探索や、上記部門に属さない事業

1. 上半期決算概要

売上高3023億円(前年比約112%)、営業利益312億円
(前年比約145%)、いずれもほぼ前回見通しどおり

< 損益計算書 >

(単位:億円)

	04年3月期 上半期 実績	05年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %	05年3月期 上半期 前回見通し*	前回見通し比 増減 %
売上高	2,702	3,023	111.9%	3,000	100.8%
売上総利益	1,130	1,273	112.7%	1,260	101.0%
販管費	710	719	101.3%	720	99.9%
R&D費	205	242	118.0%	230	105.2%
営業利益	215	312	144.8%	310	100.6%
税引前利益	194	290	149.2%	270	107.4%
税引後利益	77	164	213.5%	160	102.5%

< 為替レート >

(単位:円)

US\$レート	118.1	109.5	-8.6	107.0	2.5
EURレート	133.3	132.8	-0.5	130.7	2.1

*前回見通しは2004年7月30日発表のもの

国内外ともに堅調で前年比10%前後の高い成長
特に主力のIABとECBは前年比約115%

エリア別	04年3月期	05年3月期	前年比 増減 %	05年3月期	(単位:億円) 前回見通し比 増減 %
	上半期 実績	上半期 実績		上半期 前回見通し*	
国内	1,596	1,810	113.4%	1,810	100.0%
海外**	1,106	1,213	109.7%	1,190	101.9%
合計	2,702	3,023	111.9%	3,000	100.8%
**注) 直接貿易は海外に含む					
カンパニー別	実績	実績	%	修正見通し*	%
IAB	1,106	1,272	115.0%	1,255	101.4%
ECB	435	500	114.7%	500	100.0%
AEC	282	302	107.0%	300	100.7%
SSB	537	589	109.7%	585	100.7%
HCB	228	239	104.8%	245	97.6%
その他	114	121	106.8%	115	105.2%
合計	2,702	3,023	111.9%	3,000	100.8%

*前回見通しは2004年7月30日発表のもの

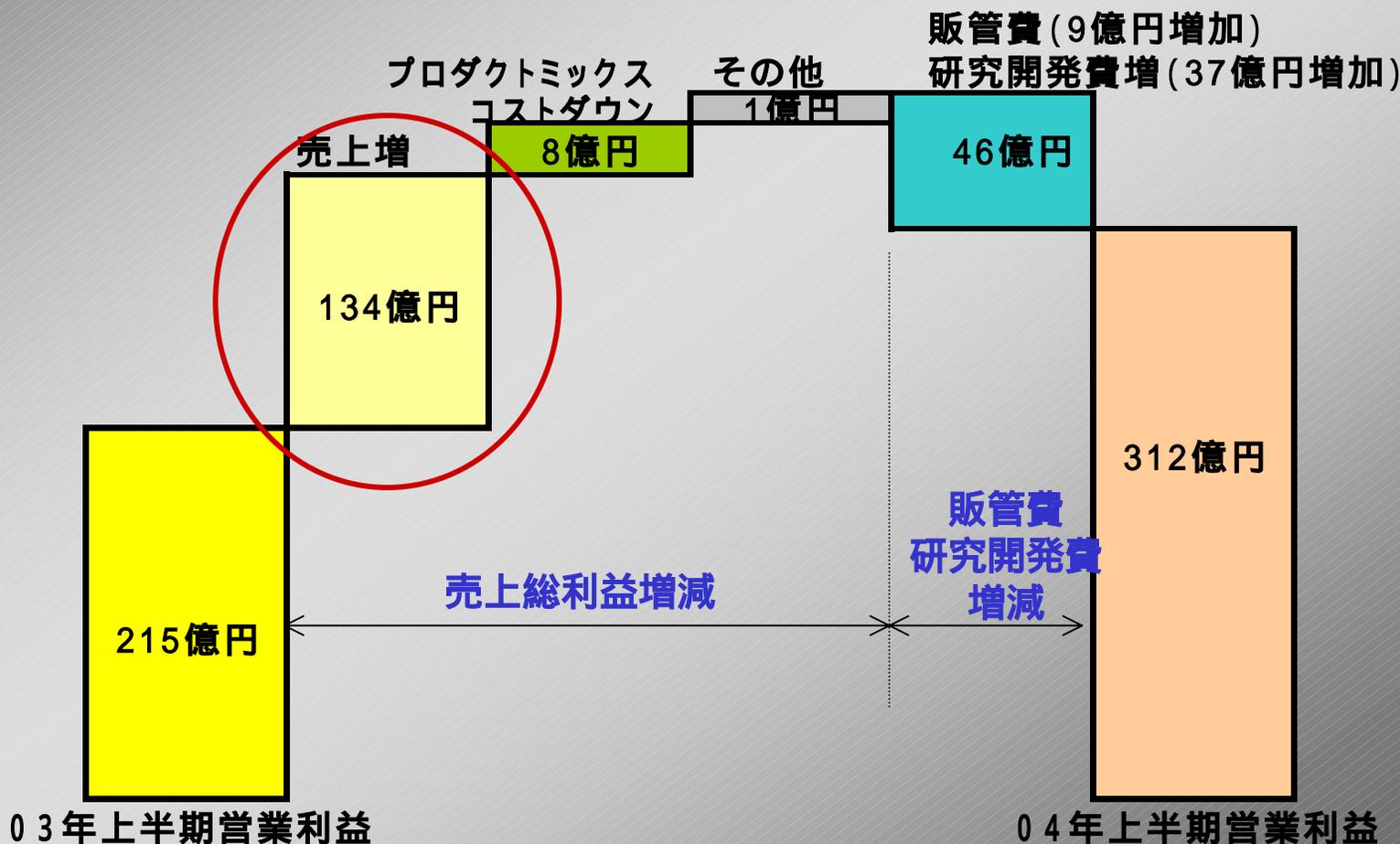
IABが利益増加に大きく寄与、SSBは新札効果で増益
車載電装品事業(AEC)は苦戦

(単位:億円)

カンパニー別	04年3月期 上半期 実績	05年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %	05年3月期 上半期 前回見通し*	前回見通し比 増減 %
IAB	163	236	144.7%	243	97.2%
ECB	75	83	110.5%	82	101.2%
AEC	4	-7	-193.5%	1	-710.0%
SSB	9	37	428.9%	17	220.0%
HCB	38	30	78.7%	44	68.2%
その他	19	20	106.4%	13	156.3%
本社費他消去	-92	-88	95.6%	-90	98.1%
合計	215	312	144.9%	310	100.5%

*前回見通しは2004年7月30日発表のもの

**売上の伸びが総利益増加の主要因
研究開発費も大きく増加し営業利益は前年比97億円増**



連結貸借対照表 概要

9月末の約300億円CB償還により
現預金ならびに短期借入金が減少

連結 B/S	2003年9月期	2004年3月期	2004年9月期
総資産	5,525	5,923	5,712
現預金	793	951	775
売上債権	974	1,221	1,139
在庫	771	703	823
その他流動資産	239	288	268
固定資産	2,748	2,760	2,707
総負債	2,904	3,176	2,710
短期借入金	457	455	248
長期借入金	114	112	8
その他負債	2,333	2,609	2,454
資本	2,621	2,747	3,003

約300億円CB償還などにより
期末の現金残高が約176億円減少

連結CF	2003年 9月期	2004年 3月期	2004年 9月期
営業活動によるキャッシュフロー	355	807	336
投資活動によるキャッシュフロー	-156	-345	-165
財務活動によるキャッシュフロー	-179	-281	-373
換算レート変動の影響	-27	-29	26
期中の増減額	-7	151	-176
期末の現金残高	793	951	775

2005年3月期
上半期決算

セグメント別情報-制御機器事業

IAB：インダストリアル・オートメーション・ビジネス

OMRON
Sensing tomorrow™

(単位:億円)

工場自動化用、産業機器用の制御システム・機器の製造・販売

産業用機器 (温度調節器、リレー、スイッチ、タイマ、カウンタなど)
システム機器 (PLC、モーションコントロールなど)
センサー機器 (光電・近接センサ、基板検査装置など)

**売上高1272億円、国内と中華圏で拡大
営業利益率18.6%**

IAB	04年3月期 上半期 実績	05年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %
国内売上高	545	657	120.4%
海外売上高	561	615	109.8%
米州	102	101	99.3%
欧州	294	324	110.0%
アジア圏	67	56	83.4%
中華圏	95	113	118.6%
貿易分	2	21	1372.5%
売上総合計	1,106	1272	115.0%
営業利益	163	236	144.7%

韓国内の販売の代理店移行による

デジタルパネルメータ



プログラマブルコントローラ



基板検査装置



家電、通信機器、携帯電話、アミューズメント機器、OA機器向けの
電子部品の製造・販売

リレー、スイッチ、コネクタ、センサー、マイクロレンズ・アレイ、
カスタムIC、ICコイン、光通信デバイスなど

売上高500億円、営業利益率16.7%
モバイル向けが中華圏と輸出で好調

ECB	04年3月期 上半期 実績	05年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %
国内売上高	235	252	107.0%
海外売上高	200	248	123.9%
米州	54	52	95.5%
欧州	50	59	117.7%
アジア圏	24	28	118.0%
中華圏	44	57	131.3%
貿易分	28	52	183.4%
売上総合計	435	500	114.7%
営業利益	75	83	110.5%

(単位:億円)

FPCコネクタ



光通信デバイス



液晶画面用バックライト
B-MLA



自動車搭載用電子部品の製造・販売

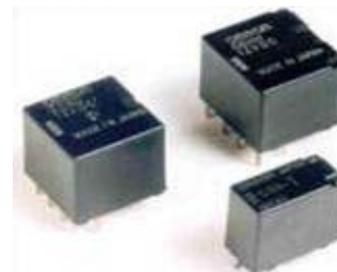
車載用リレー、センサー、レーザーレーダー、
パワーウィンドースイッチ、キーレスリモートスイッチ、ECUなど

(単位:億円)

売上302億円、営業利益マイナス
国内一部顧客向け不振、北米苦戦

AEC	04年3月期 上半期 実績	05年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %
国内売上高	117	126	108.1%
海外売上高	165	176	106.3%
米州	106	101	94.8%
欧州	19	21	113.9%
アジア圏	39	53	135.5%
中華圏	0	0	-
貿易分	2	1	79.1%
売上総合計	282	302	107.3%
営業利益	4	-7	-

車載用リレー



キーレスリモートスイッチ



レーザーレーダー



金融・駅務・交通分野への機器/モジュールの製造・販売
およびソリューション/サービスの提供
ATM、CD、両替機等の金融機器
自動改札機、券売機、精算機等の駅務機器
信号制御、道路管制機器等の交通機器

(単位:億円)

自動改札機



ATM



交通/道路管理システム



新札効果で
国内売上、営業利益とも大幅増加

SSB	04年3月期 上半期 実績	05年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %
国内売上高	483	542	112.0%
海外売上高	54	47	88.9%
米州	1	1	78.7%
欧州	6	4	68.8%
アジア圏	0	0	-
中華圏	1	0	-
貿易分	44	43	95.9%
売上総合計	537	589	109.8%
営業利益	9	37	428.9%

*ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーとフィナンシャル・サービス・ビジネスカンパニーを合計しています。

家庭用および医療用健康機器の製造・販売

電子血圧計、電子体温計、ネブライザー、歩数計、
体組成計(体脂肪計)、低周波治療機、マッサージ機器、

(単位:億円)

売上239億円、営業利益率12.6%
国内で血圧計、体組成計が堅調

血圧計



体組成計(カラダスキャン)



ネブライザー



HCB	04年3月期 上半期 実績	05年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %
国内売上高	104	114	109.5%
海外売上高	124	125	100.7%
米州	67	68	101.4%
欧州	37	37	98.4%
アジア圏	7	7	111.3%
中華圏	13	13	95.7%
貿易分	1	1	104.8%
売上総合計	228	239	104.8%
営業利益	38	30	78.7%

2. 下半期・通期の業績見通し

売上3127億円、営業利益288億円の見通しで
ほぼ前年並み、前回見通しからの大きな変更なし

< 損益計算書 >

(単位:億円)

	04年3月期 下半期 実績	05年3月期 下半期 見通し	前年比 増減 %	05年3月期 下半期 前回見通し*	前回見通し比 増減 %
売上高	3,147	3,127	99.4%	3,150	99.3%
売上総利益	1,271	1,267	99.7%	1,260	100.6%
販管費	712	731	102.7%	720	101.5%
R&D費	260	248	95.3%	250	99.2%
営業利益	299	288	96.4%	290	99.3%
税前利益	286	270	94.6%	290	93.1%
税引後利益	191	176	92.1%	180	97.8%

< 為替レート >

US\$レート	108.3	110.0	1.7	105.0	5.0
EURレート	131.0	130.0	-1.0	130.0	0.0

*前回見通しは2004年7月30日発表のもの

金融機器事業のJV移行に伴い国内売上ならびにSSBは前年比マイナス、他事業はいずれも前年比プラス成長予想

(単位:億円)

エリア別	04年3月期 下半期 実績	05年3月期 下半期 見通し	前年比 増減 %	05年3月期 下半期 前回見通し*	前回見通し比 増減 %
国内	2,015	1,886	93.6%	1,925	98.0%
海外**	1,132	1,242	109.7%	1,225	101.3%
合計	3,147	3,127	99.4%	3,150	99.3%
**注) 直接貿易は海外に含む					
カンパニー別	実績	見通し	%	前回見通し*	%
IAB	1,190	1,258	105.7%	1,240	101.4%
ECB	454	565	124.4%	585	96.6%
AEC	306	318	103.9%	320	99.3%
SSB	823	571	69.4%	565	101.1%
HCB	242	271	112.2%	270	100.4%
その他	131	144	109.6%	170	84.6%
合計	3,147	3,127	99.4%	3,150	99.3%

*前回見通しは2004年7月30日発表のもの

全社連結はほぼ前回見通し通りと予想、IABとECBは堅調を維持、SSBは新札需要一巡で前年比マイナス予想

(単位:億円)

カンパニー別	04年3月期 下半期 実績	05年3月期 下半期 見通し	前年比 増減 %	05年3月期 下半期 前回見通し*	前回見通し比 増減 %
IAB	179	209	116.9%	207	100.8%
ECB	71	87	122.0%	90	96.1%
AEC	7	10	150.7%	14	72.1%
SSB	95	28	29.1%	34	81.2%
HCB	33	50	149.4%	43	116.3%
その他	19	11	57.9%	20	54.2%
本社費他消去	-105	-106	100.9%	-118	89.5%
合計	299	288	96.5%	290	99.3%

*前回見通しは2004年7月30日発表のもの

売り上げ、利益とも前回見通しどおりで過去最高を予想
ROE=11.5%、EPS=約140円を見込む

< 損益計算書 >

(単位:億円)

	04年3月期 通期 実績	05年3月期 通期 見通し	前年比 増減 %	05年3月期 通期 前回見通し*	前回見通し比 増減 %
売上高	5,849	6,150	105.1%	6,150	100.0%
売上総利益	2,401	2,540	105.8%	2,520	100.8%
販管費	1,422	1,450	102.0%	1,440	100.7%
R&D費	465	490	105.4%	480	102.1%
営業利益	514	600	116.7%	600	100.0%
税引前利益	480	560	116.7%	560	100.0%
税引後利益	268	340	126.8%	340	100.0%

< 為替レート >

ROE=11.5%、EPS=142.81円の見通し

US\$レート	113.4	109.8	-3.6	106.1	3.7
EURレート	132.4	131.5	-0.9	130.3	1.2

*前回見通しは2004年7月30日発表のもの

2005年3月期
通期見通し

連結売上高見通し明細 地域別 / 事業別

OMRON
Sensing tomorrow™

売上成長約5%予想。金融機器事業のJV移行に伴う
売上減少要因を除外すれば7%程度の成長予想

(単位:億円)

エリア別	04年3月期 通期 実績	05年3月期 通期 見通し	前年比 増減 %	05年3月期 通期 前回見通し*	前回見通し比 増減 %
国内	3,611	3,695	102.3%	3,735	98.9%
海外**	2,238	2,455	109.7%	2,415	101.7%
合計	5,849	6,150	105.1%	6,150	100.0%
**注) 直接貿易は海外に含む					
カンパニー別	実績	見通し	%	前回見通し*	%
IAB	2,296	2,530	110.2%	2,495	101.4%
ECB	890	1,065	119.7%	1,085	98.2%
AEC	588	620	105.4%	620	100.0%
SSB	1,360	1,160	85.3%	1,150	100.9%
HCB	470	510	108.6%	515	99.0%
その他	245	265	108.3%	285	93.0%
合計	5,849	6,150	105.1%	6,150	100.0%

*前回見通しは2004年7月30日発表のもの

IAB・ECB・HCBが2桁以上の利益成長、SSBは新札需要のピークアウトにより減益、AECは採算性回復に遅れ

(単位:億円)

カンパニー別	04年3月期 通期 実績	05年3月期 通期 見通し	前年比 増減 %	05年3月期 通期 前回見通し*	前回見通し比 増減 %
IAB	342	445	130.2%	450	98.9%
ECB	146	170	116.1%	172	98.8%
AEC	10	3	28.9%	15	20.0%
SSB	104	65	62.7%	51	127.5%
HCB	72	80	111.7%	87	92.0%
その他	38	31	82.0%	33	93.7%
本社費他消去	-197	-194	98.4%	-208	93.2%
合計	514	600	116.7%	600	100.0%

*前回見通しは2004年7月30日発表のもの

3 . 新中期計画の進捗状況

2004年5月発表の新中期計画では
新技術領域と中華圏市場を重点成長領域に設定

2007年度経営目標
「事業価値の総和を倍増」

新技術領域での
事業価値創出

< 1つのシナリオイメージ >

コア技術を基軸とし、
毎年20%以上の成長を期待できる

新規領域で売上増約500億円を実現し
新たな事業価値を創出する

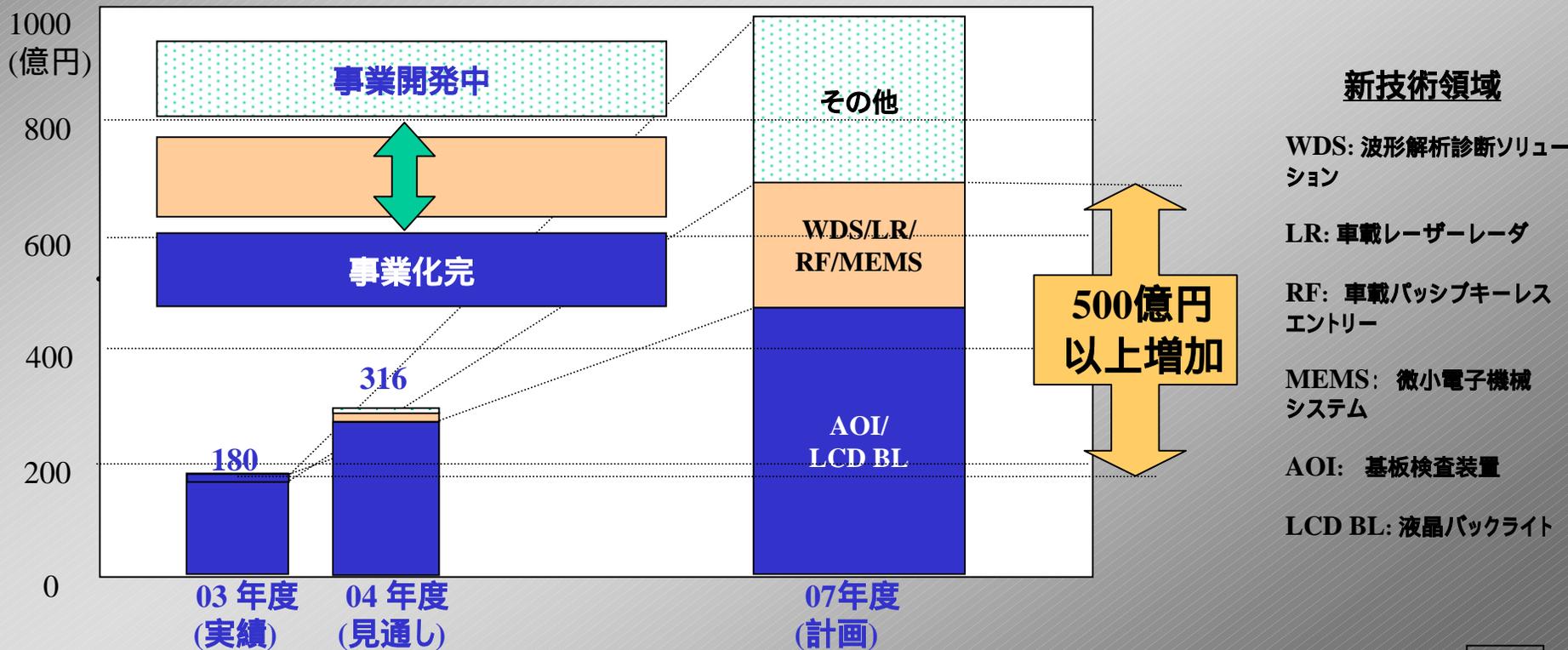
中華圏を含む既存領域での
事業価値拡大

< 1つのシナリオイメージ >

中華圏での売上成長約1000億円と

既存事業の収益構造の見直し
(特に販管費率と製造費率の改善)により
事業価値を拡大する

基板検査装置と液晶バックライトの売上成長が順調で
07年度に売上500億円増加実現への確かな足取り

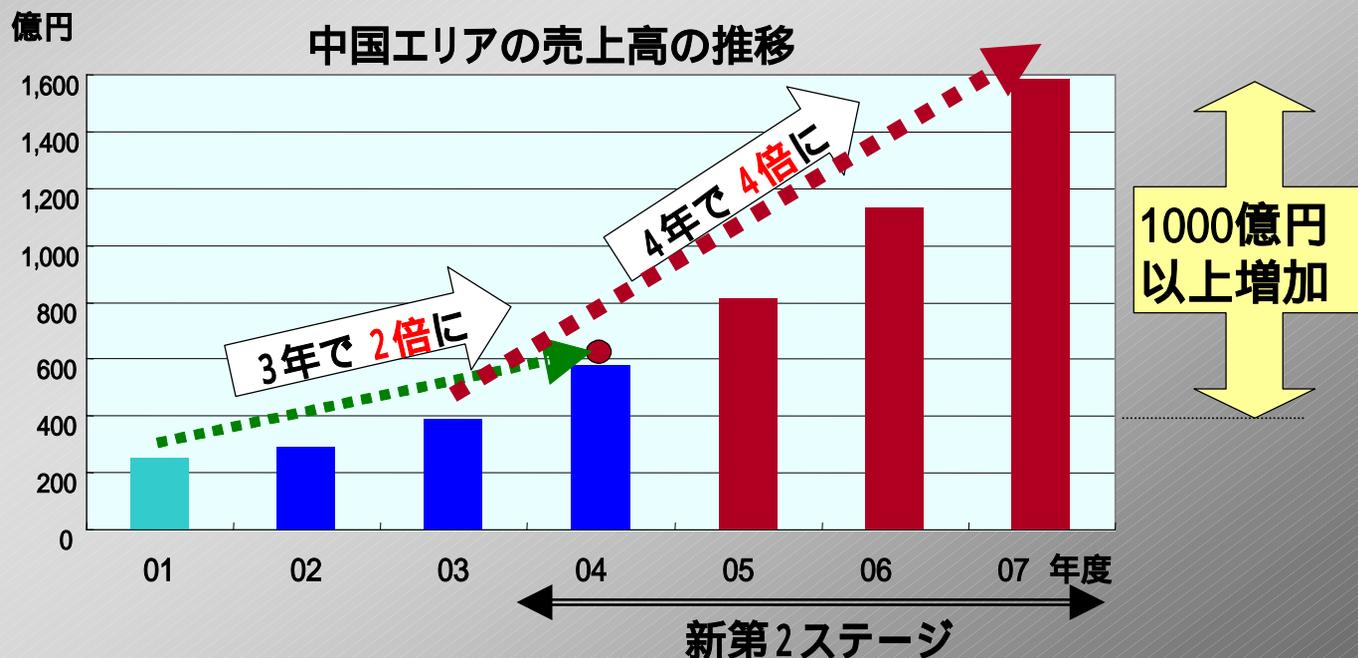


04年度中華圏売上は前年比48%成長*の見通し
07年度に1000億円増加へ着実に前進中

*注) ・ドルベース
・ただし、JV移行のATM事業除く

03年度実績	07年度計画
売上高: 388億円**	1500億円 (1000億円以上の増加)
投資額: 300億円	

**注)JV移行のATM事業含む

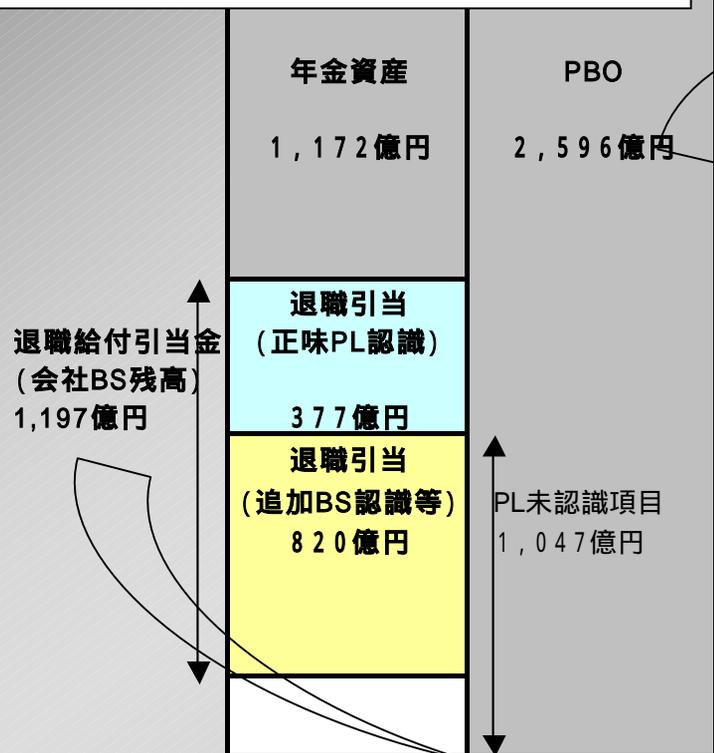


4 . 企業年金の現状と将来

**代行返上及び制度変更によりPBO*は1140億円程度減少し
当社BS上の年金債務は580億円程度減少と試算**

代行返上及び制度変更前の企業年金
(04年3月末)

*PBO: 予測給付債務 Projected Benefit Obligation



代行返上及び制度変更後の企業年金
(04年3月末想定)



580億円程度

1140億円程度

5 . 「人と機械のベストマッチング」 ～オムロンの目指す方向性～

機械が人に合わせる。機械が人にもっと歩み寄る。
それが「人と機械のベストマッチング」

従来

人が機械に合わせる

センシング &
コントロール技術で
変わる

将来

機械が人に合わせる

ユーザー(人)の技能レベルや性別・年齢に応じ
機械がその機能や性能を調整する

「人と機械のベストマッチング」

社会の変化とともに社会のニーズも変化する
オムロンはそのニーズの変化に先駆けます

工業化社会

物質的な豊かさを
追求するニーズ

生産性

効率性

- 例)
- ・大量生産 / 大量消費
 - ・時間と距離を縮める情報手段

社会の変化

最適化社会

精神的なゆとりを
追求するニーズ

安全

安心

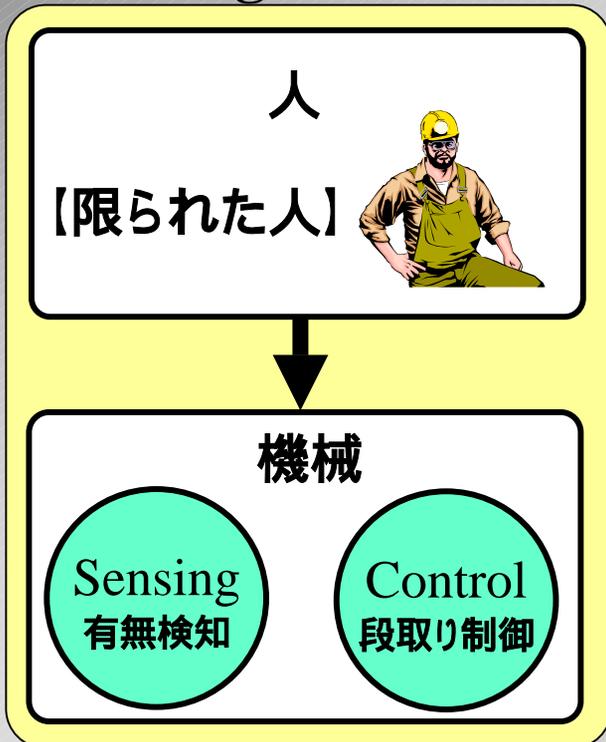
環境

- 例)
- ・安全 / 安心 / 健康な職場と家庭
 - ・エネルギー / 天然資源の消費抑制や環境保全

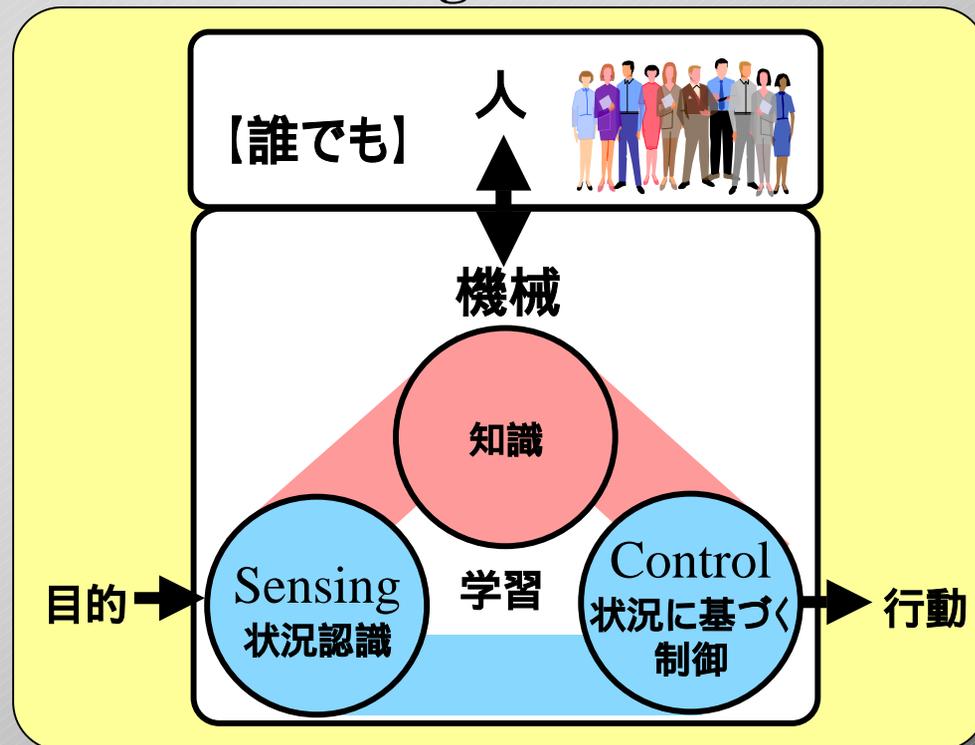
社会の
ニーズも
変化する

人に代わって機械が「学習」し最適な行動を獲得する
それを実現させるのが最新のSensing & Control技術

Sensing + Control



Sensing & Control



生体センサーやレーザーレーダー、HDRRCが
安全な車の運転をサポートする

運転環境個人最適化
居眠り不注意検知



顔認識エントリー

車間距離計測あるいは
障害物検知



人と機械のベストマッチングをめざして



オムロン株式会社

